



すぐにどこへもうごく!

すどうあきお通信



今春「稲付中学校」新校舎が完成

地域の避難所としても充実

近年の震災では建物の倒壊や火災、津波など地震による直接的な被害だけでなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など、間接的な原因で死亡する「震災関連死」の対策が叫ばれるようになってきました。

東京・北区には、日本中からトップアスリート（競技選手）が集結する「ナショナルトレーニングセンター」があります。さらに「JOCエリートアカデミー」のメンバーが、近接する稲付中学校の生徒として勉学に励んでいます。

現在、稲付中学校は、新校舎の建設が進められており、いよいよ、本年4月に開校の予定です。

同校では、他校に先駆け、体育館に冷暖房が完備され、グラウンドには人工芝が敷設されました。

小中学校の体育館は、震災時の避難所となります。

避難所としての小中学校の冷暖房整備が喫緊の課題となり、今回、いち早く稲付中学校に設置されたのです。

またグラウンドの人工芝は、通常、生徒が使うだけでなく、地域の方々にも使っていただくことを念頭に進めました。人気のグラウンドゴルフにも最適です。

すどうあきおは、地域の皆さまの安心・安全のため、今後も真剣に働いてまいります。

体育館に冷暖房 グラウンドは人工芝